

お宝「神楽」を見に行つて、クイズに挑戦!

見ル角牛ノク

お宝は、おうちの人と見に行こう~

お宝「神楽」を見てみると、きっと新しい発見があるぞ

自分の前で見てみると、きっと新しい発見があるぞ

クイズを解いてみよう!このパンフレットに書かれたことをちゃんと読んでないと解けないぞ~

豊前神楽ってなあに 一ノ巻

□を埋めて文章を完成させよう。

みやこ町や北九州・京築地域、大分県北部で舞われる神楽は、昔この地域を「」と言ったことから「神楽」と呼ばれます。
豊前神楽は、①神話「天の」を再現する「開き」を最後に飾る大事な舞をしていること、②修驗道の行事「柱松」や「火渡り」とよく似た番組「」があることが特徴です。



豊前神楽ってなあに 二ノ巻

□を埋めて文章を完成させよう。

豊前神楽は時代から舞われ続

けていて、その頃の神楽は「」とよばれる神職の人たちが舞っていましたが、時代はじめからムラ人が

舞うようになりました。

ムラ人の舞う神楽はと呼ばれて150年ほどの歴史があり、平成28年(2016)には国の重要無形民俗になりました。



みやこ町の「神楽」について学ぼう!

1 鎧煙神楽会(岸川鎧煙)

奉納日：5月2日(大山祇神社神幸祭)

奉納場所：鎧煙公民館

鎧煙の神楽は、大正11年(1922)に大山祇神社の神樂が新調したことをきっかけに始まったとされる神楽だよ。庭にさざひひたものを舞台にしていて、舞手も観客も一緒になって楽しめるよ。

2 光富神楽会(光富)

奉納日：5月3日(徳矢神社神幸祭)

奉納場所：徳矢神社

光富の神楽は、明治半ばころの赤幡神樂を聞いて始まつたらしく、神社の拝殿で奉納される音ながらの姿が特徴で、保存会はほかにも盆踊りやどんど焼きなど、昔からの行事を大切にしているんだ。

3 上伊良原神楽保存会(岸川上伊良原)

奉納日：5月4日(高木神社神幸祭)

奉納場所：上伊良原公民館

上伊良原の神楽は、明治29年(1896)に始まった記録があって、記録が残る神楽としては西日本で一番古いんだ。伝説の名人がいて、町内外にこの神楽を伝めたことで有名になっているよ。

4 横瀬神楽講(岸川横瀬)

奉納日：5月3日(若宮八幡宮神幸祭)

奉納場所：横瀬公民館

横瀬の神楽は大正14年(1925)に、上伊良原地区の神楽名人によって始まつたされているよ。戦前に東京遠征をしたりと对外活動が盛んで、最近も香港で公演したんだ。

5 神楽「師匠塚」(勝山黒田)

神楽名人の業績をたたえるモニュメント

今は買われていない黒田の神楽。この神楽講には熱心な指導で有名な名人がいて、彼の弟子たちはそのことに感謝して、師匠をたたえた記念碑を作ったんだ。神楽ゆかりのこうした碑は、町内唯一の珍しいものだよ。



6 みやこ町歴史民俗博物館(豊津)

みやこ町の歴史と文化についての資料・情報が集まる博物館。神楽についてもひとおりそろっていて、古い神楽の衣装やお面、古い記録などがあるよ。

ハンズオンコーナーには、神楽のお面や鬼杖・御幣などがおかれている。実際に手に取って感触を確かめることができるよ。ここで神楽情報を仕入れたら、あとは現地で本物を見て・感じて・楽しんでみよう!

神楽は実際に演じられる場所で見るのが大事なんだ。

*神楽の奉納日は変更されることがあるので、見学前に博物館で確認しておくのがベスト!